

**大学発新産業創出プログラム 社会還元加速プログラム(SCORE) チーム推進型
事後評価結果**

課題番号	STSC19007
研究開発課題名:	レビー小体型認知症の超早期診断と治療薬開発の事業化検証
研究担当者(所属・役職・氏名)	東北大学 大学院薬学研究科 教授 福永 浩司

1. SCORE での活動目的

レビー小体型認知症(パーキンソン病を含む)の患者数は約 120 万人であるが、未だ根本的治療薬はなく、対象療法がおこなわれるのみである。私達は、本疾患の原因蛋白質である α シヌクレインの脳細胞における凝集および伝播を抑制する低分子を創製した。さらに、超高感度オート ELISA 装置を用いて、患者血漿中バイオマーカーの測定を行い、早期に疾患名を予測することができる認知症超早期診断技術を開発した。本プログラムにおいては、レビー小体型認知症の超早期診断技術および、根本治療薬の臨床開発の事業化検証を行う。

2. 総合所見

認知症診断ビジネスを行う事業会社や、製薬企業へのヒアリングを通して仮説検証活動を進めることで、顧客候補を認知症センターに切り替えて事業化の実現可能性を向上させた点と、起業に向けた積極的な活動をしている点を評価する。社会的に意義の高いプロジェクトであるため、知財の確保と創薬分野の人材とのチームアップを確実に進め、事業化を実現することを期待する。

以上